

## 2023 年度

## 授業概要

科目名	言語聴覚障害概論①			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	30 回	時間数	60 時間 2 単位	必修・選択	必修	担当学年 時期	ST1年 通年
<b>【授業の目的・ねらい】</b> 言語聴覚障害の基礎知識を習得し、評価・診断および臨床の流れと基本的な手法について理解できる。 国家試験に則した基礎的知識を身につける。							
<b>【実務者経験】</b> ・岡山かなりや学園、まな星クリニックにて、言語聴覚士として小児の聴覚障害および発達障害分野の療育に従事する。 ・言語聴覚士としてこども発達サポートセンター、野間こどもクリニックなどで発達障害児の言語聴覚療法に従事経験。							
<b>【授業全体の内容の概要】</b> 言語聴覚士の業務に関わる基礎的な知識を習得するとともに、関連法規や倫理観を学ぶ。 言語聴覚士に必要な国語表現を身に着ける。							
<b>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</b> 言語聴覚士業務について説明することができる。 国家試験に則した基礎的知識を身につけることができる。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	オリエンテーション・医療漢字・医療用語について確認できる						概論 教科書
2	言語聴覚障害とは・言語聴覚士とは(基本理念・職務・倫理・リスク等)について理解できる						概論 教科書
3	言語聴覚障害とは・言語聴覚士とは(基本理念・職務・倫理・リスク等)について理解できる						概論 教科書
4	言語発達障害①(定型発達)について理解できる						言語発達障害学教科書
5	言語発達障害②(定型発達・ASD)について理解できる						言語発達障害学教科書
6	言語発達障害③(ASD)について理解できる						言語発達障害学教科書
7	言語発達障害④(ASD)について理解できる						言語発達障害学教科書
8	言語発達障害⑤(ADHD)について理解できる						言語発達障害学教科書
9	言語発達障害⑥(ADHD)について理解できる						言語発達障害学教科書
10	言語発達障害⑦(SLI)について理解できる						言語発達障害学教科書
11	言語発達障害⑧(SLI)について理解できる						言語発達障害学教科書
12	言語発達障害⑨(LD)について理解できる						言語発達障害学教科書
13	言語発達障害⑩(LD)について理解できる						言語発達障害学教科書
14	言語発達障害⑪(ID)について理解できる						言語発達障害学教科書
15	言語発達障害⑫(ID)について理解できる						言語発達障害学教科書
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 標準言語聴覚障害学 言語聴覚障害概論 標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第3版 標準言語聴覚障害学 聴覚障害学 第3版							
<b>【準備学習・時間外学習】</b> 指定した教科書ページと配布資料を読み、予習・復習を行ってください。							
<b>【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】</b> 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。							

## 2023 年度

## 授業概要

科目名	言語聴覚障害概論②			授業の種類	演習	講師名
授業回数	30 回	時間数	60 時間 2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期 ST1年 通年
<b>【授業の目的・ねらい】</b> 言語聴覚障害の基礎知識を習得し、評価・診断および臨床の流れと基本的な手法について理解できる。 国家試験に則した基礎的知識を身につける。						
<b>【実務者経験】</b> ・岡山かなりや学園、まな星クリニックにて、言語聴覚士として小児の聴覚障害および発達障害分野の療育に従事する。 ・言語聴覚士としてこども発達サポートセンター、野間こどもクリニックなどで発達障害児の言語聴覚療法に従事経験。						
<b>【授業全体の内容の概要】</b> 言語聴覚士の業務に関わる基礎的な知識を習得するとともに、関連法規や倫理観を学ぶ。 言語聴覚士に必要な国語表現を身につける。						
<b>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</b> 言語聴覚士業務について説明することができる。 国家試験に則した基礎的知識を身につけることができる。						
回数	講義内容					準備物(教材)
16	言語発達障害⑬(CP)について理解できる					言語発達障害学教科書
17	言語発達障害⑭(CP)について理解できる					言語発達障害学教科書
18	言語発達障害⑮(支援技法)について理解できる					言語発達障害学教科書
19	言語発達障害⑯(地域支援)について理解できる					言語発達障害学教科書
20	言語発達障害⑰(まとめ)前回までの講義内容について、説明することができる					言語発達障害学教科書
21	言語聴覚士法について理解することができる。					言語聴覚障害概論配布資料
22	言語聴覚療法の歴史について理解することができる。					言語聴覚障害概論配布資料
23	日本における言語聴覚士の現状について理解することができる。					言語聴覚障害概論配布資料
24	言語聴覚士に関わる法律について概要を理解することができる。					言語聴覚障害概論配布資料
25	聴覚系の病態(伝音難聴をきたす疾患)について理解することができる。					聴覚障害学配布資料
26	聴覚系の病態(感音難聴をきたす疾患)について理解することができる。					聴覚障害学配布資料
27	聴覚系の病態(中枢性難聴)について理解することができる。					聴覚障害学配布資料
28	聴覚系の病態(特異的な聴覚障害)について理解することができる。					聴覚障害学配布資料
29	聴覚系の病態(重複障害)について理解することができる。					聴覚障害学配布資料
30	21回から29回までのまとめ					聴覚障害学配布資料
定期筆記試験						
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> 標準言語聴覚障害学 言語聴覚障害概論 標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第3版 標準言語聴覚障害学 聴覚障害学 第3版						
<b>【準備学習・時間外学習】</b> 指定した教科書ページと配布資料を読み、予習・復習を行ってください。						
<b>【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】</b> 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。						